

幕別町消費者被害防止

ネットワークニュース

第14号 平成29年5月1日

発行：幕別町消費者被害防止
ネットワーク事務局
(幕別町消費生活センター)
連絡先：0155-55-5800
設立：平成27年12月18日

「オレオレ詐欺」(現金手渡し型) 連続発生！

従来の「オレオレ詐欺」は、銀行や郵便局などの金融機関の口座へ振り込ませる手口でしたが、最近は振り込ませない手口「現金手渡し型」で高齢者を狙っています。今年2～3月には、北海道内において、犯人が被害者宅近くの路上や公園で、お金を受け取る手口が目立っています。

・発生場所の件数と金額

札幌市	5件	762万円
江別市	1件	100万円
苫小牧市	1件	500万円
室蘭市	1件	1,800万円
深川市	1件	100万円
北見市	1件	500万円
帯広市	1件	160万円
合計	11件	3,922万円

だまされないで！
4月に入り道東でも予兆電話発生！



共通するキーワードは

- 息子(孫、おい)を名乗る男から電話がある。
- のどにポリープ(できもの)ができたという。
- 病院でかばんを盗まれたので、お金を用意してという。
- 上司の息子(弟)が行くので、路上や公園でお金を渡すようにいう。
- 被害者のほとんどが、70代以上の女性でした。

相手の思うツボにならないためには

- 「わたしもだまされるかも」と常に警戒心を持つ。
- 離れて暮らす家族と連絡を取ろう。
- 詐欺の手口について知っておこう。
- 「身内かどうかは声でわかるはず・・・」と信じていても、電話を通すと声質が判断しにくいものです。お金がらみの電話は詐欺を警戒！
- 少しでもおかしいと思ったら、誰かに相談しよう。



家族や周囲の人たちへ

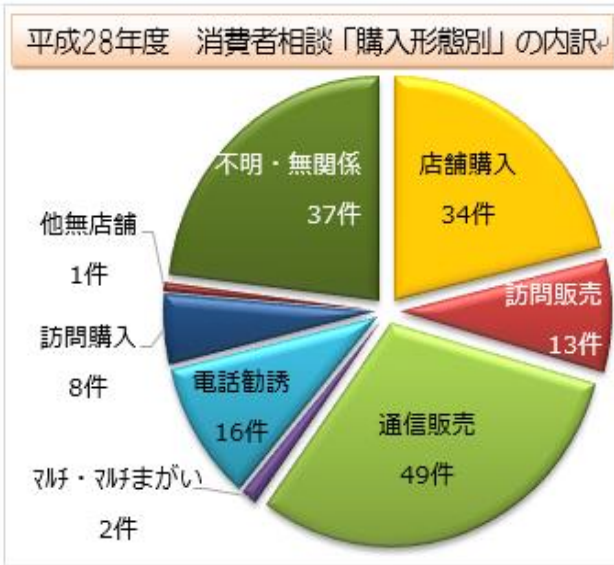
「何か困っていない?」「悩んでいない?」と積極的に声かけを行うなどの「高齢者の見守り」をお願いします。

最多は通信販売に関する相談

幕別町消費生活センター

訪問販売・訪問購入も増加

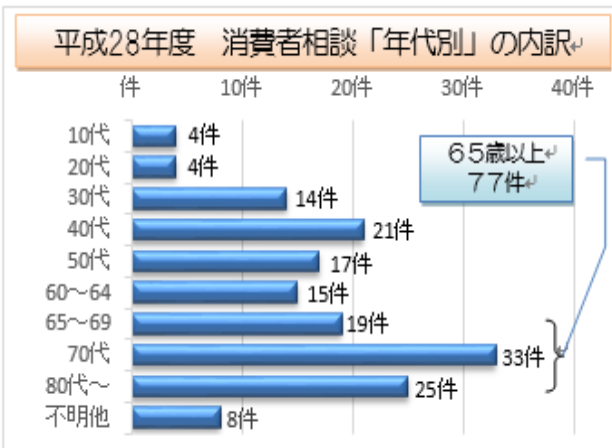
町消費生活センターは、平成28(2016)年度に消費者から寄せられた相談160件について集計し傾向をまとめました。



購入形態別で最も多かったのは、通信販売49件で、そのうち、利用した覚えのないサイト利用料などの架空請求や当選商法的なメールに関するものや、ネット閲覧中にいきなり登録料を請求される「ワンクリック請求」などのインターネットを通じた相談で30件を占めました。次に多いのが店舗購入34件で携帯電話の契約・解約に関する相談が目立ちました。昨年少なかった訪問販売は新聞や放送受信料、省エネ機器の勧誘などで倍増。また、訪問購入(買取)の相談も時期を集中して昨年の4倍ありました。訪問販売・訪問購入共に業者がその地域を重点的に回るため、定期的に集中する傾向にあります。

当センターには幸いなことに詐欺に関する実害を伴った相談は入りませんが、架空請求メールが来て相手に連絡をしてみたい、金額の請求を受けた後、あやしいと感じて相談されてきたケースが数件ありました。疑問に感じた時は必ずご連絡ください。

年代別では65歳以上 全相談の約5割



65歳以上の相談は77件あり約半数を占めました。なかでも、携帯電話の契約において、通話しか利用しないのに「スマホ、ガラケー、タブレット端末などの複数機器を一度に契約した」「無料と言われたが毎月請求がある(本体のみ無料)」などが数件ありました。携帯電話は便利な反面契約は複雑で難しい面もあります。いろいろな機能を使われる人、通話機能しか使わない人、さまざまです。



特殊詐欺に注意!

- 電話で「お金の話」はあやしい!
- すぐに振り込まない!
- 誰かに相談する!

ご自身で解決できた場合でも、被害拡大防止のため情報提供いただければ幸いです。

契約前にお店の人に自分の利用方法を伝え、見合った契約内容になるよう話し合い、理解できるまで聞きましよう。契約当初に料金はいくら必要か、毎月の料金はいくらかかるのかを確認しておくことも重要です。センターでは昨年度、老人クラブなどからご依頼を受け、出前講座を団体へ実施させていただき、詐欺や悪質商法に関する啓発・情報提供を行いました。

幕別町消費生活センター

電話番号：0155-55-5800
相談時間：午前9時～午後4時
(札内は第①③⑥水曜午後7時迄)

幕別相談室

火・木曜日
役場1階相談室
(正面玄関右手)

札内相談室

月～金曜日
札内コミュニティプラザ
(電話相談も担当)

忠類相談室

第②④水曜日
忠類コミュニティセンター